



ŌMIYA NEWS



No.10 2022年7月24日 JR東労組大宮地本

「大宮総合車両センター業務の委託拡大について」提案を受けました！

大宮地本は、7月22日に「大宮総合車両センター業務の委託拡大について」の提案を受けました。効率的な業務執行体制の確立とエルダー社員の技術等を活かせる新たな雇用の場の確保を目的に、大宮総合車両センターにおける検修業務の委託を拡大するとしています。

1. 実施箇所

◆大宮総合車両センター

2. 委託する業務内容 (1)車体台車つなぎ作業 (2)輪軸作業 (3)速度発電機作業

3. 実施日 令和4年12月1日以降

4. 実施後の体制

	変形等	現行		改正		記事	
		交代	計	交代	計		
大宮総合車両センター	管理	37	1	38	36	1	37
	一般	194	4	198	190	4	194

※業務の繁閑等に応じて1日当たりの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

5. スケジュール

年度	2022年度									
	内容	▼社員説明				▼技術指導				▼委託開始

6. その他

必要な教育を実施する。

会社・保全（かんり）△1、つなぎ作業：保全（一般）△2、輪軸作業：部品科（一般）△2

・ボルトやクリートゴムなどの消耗品の発注については調整していく。

・JR本体が持っているディップスゲージなどは調整が必要だが譲渡か貸与を考えている。

・技術指導を2カ月とした根拠は入場車両含めて2カ月で十分だと判断した。



組合「委託拡大ということで大宮総合車両センターの技術力が本体から無くなってしまうのではという危機感がある」「エルダー社員の技術力を活かす。雇用を確保するとの目的もある、交渉で議論していく。」

**委託拡大で安全レベルが低下しないように
労働組合として職場から声をあげよう！！**